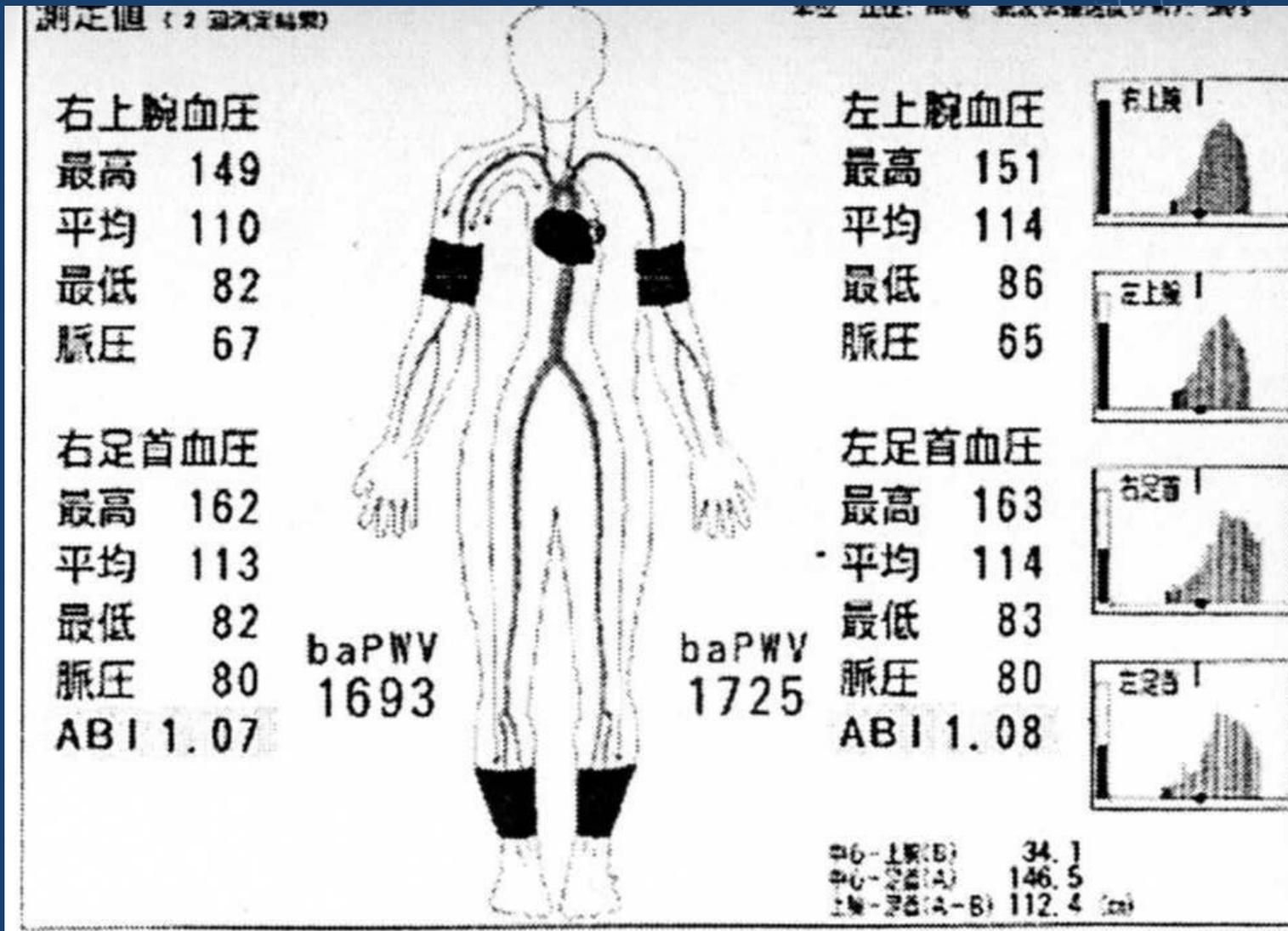


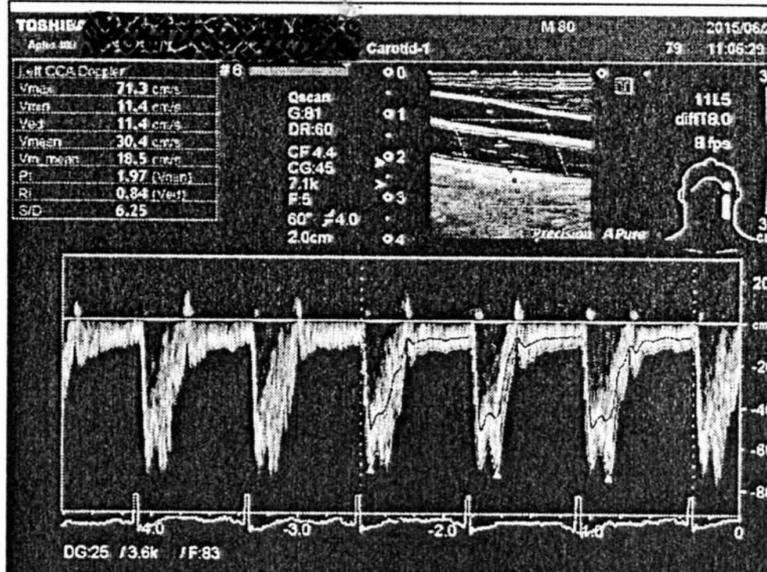
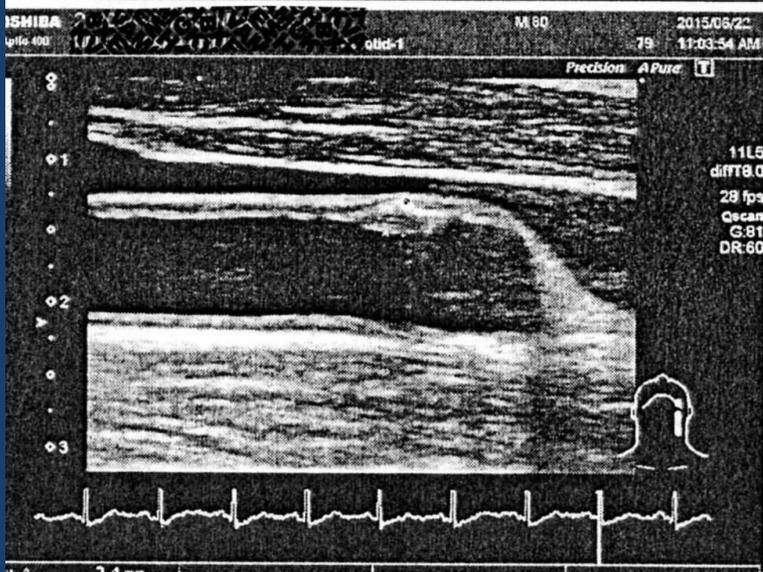
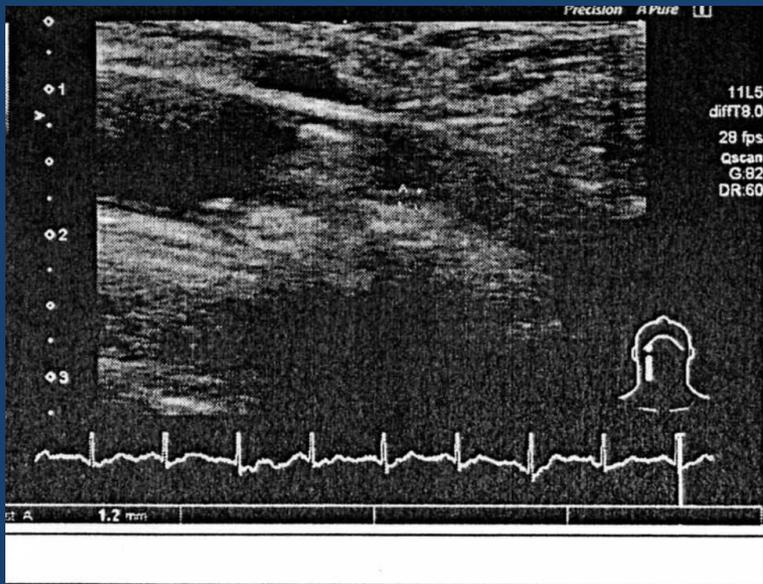
当院、糖尿病外来における動脈硬化への取り組み

- 糖尿病は、病歴やコントロール状況により、血管に動脈硬化をきたします。
- 簡単な検査から始まって、血管動脈硬化の診断から治療へ結びつけています。
- 検査から、治療への流れと、当院で心臓の動脈硬化を判定し、治療した成績をお知らせ致します。

脈波検査

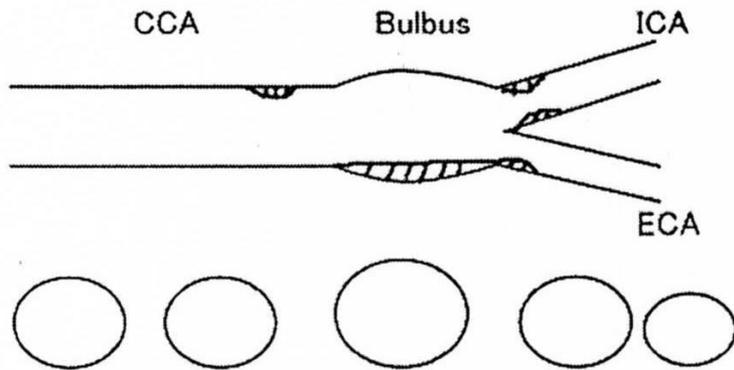


頸動脈エコー検査

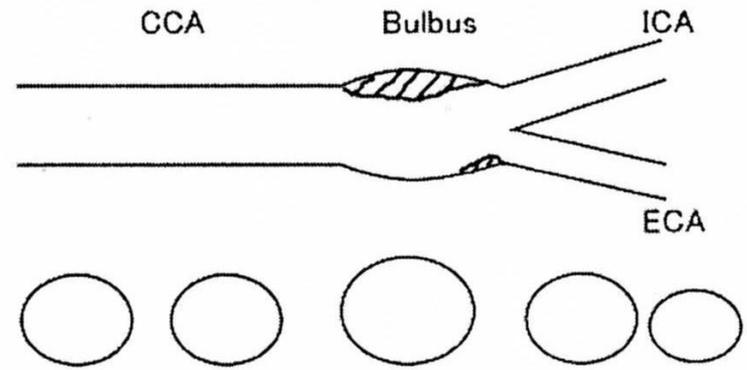


頸動脈エコー検査の結果

Rt



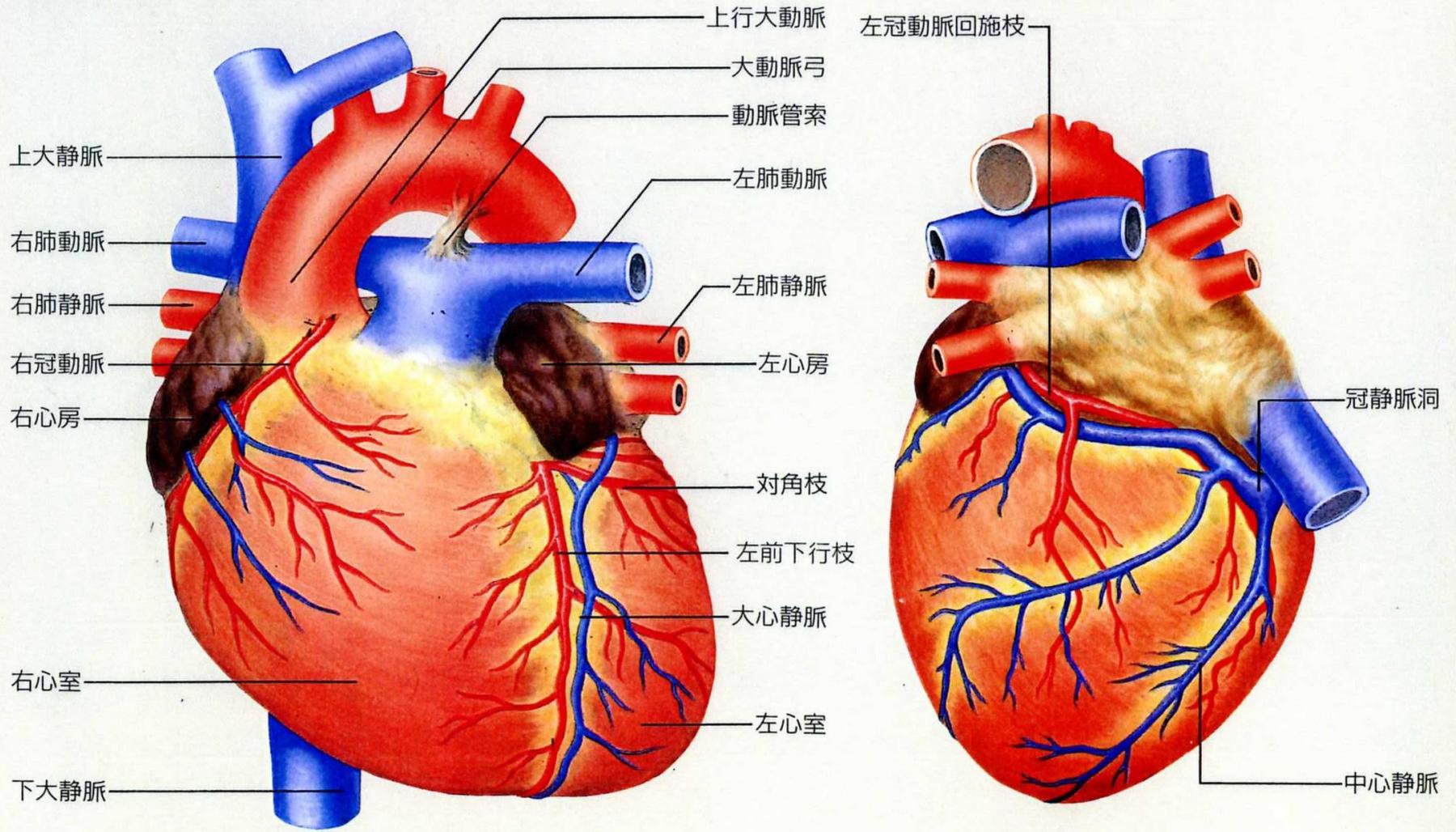
Lt



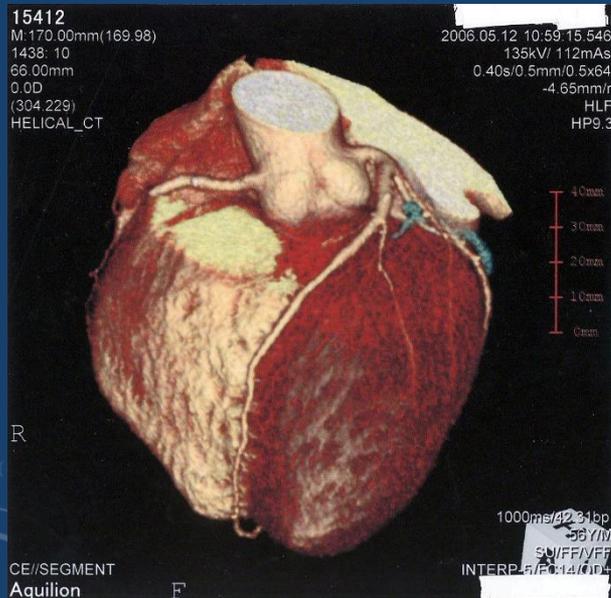
【Summary】

- ・上記以外のPlaque: Lt.Bulbus1.2mm【I b(s)】
- ・Rt.CCA、Rt.ICA、Lt.Bulbusに高輝度Plaqueを認めます。
- ・Rt.Bulbus、Rt.ECAに等輝度Plaqueを認めます。
- ・Rt.ICAモザイクエコーを認めますが、明らかな加速血流(-)、狭窄率は上記参照。
- ・総Plaque score:11.3より、高度動脈硬化が疑われます。

1-1 心臓の図(正面および後面)



心臓にいく血管(冠動脈3本)の動脈硬化を知ることは命を延ばします。
検査は30分で終了します。
外来でできます。



このような像が撮れます。
冠動脈がきれいに映っています。

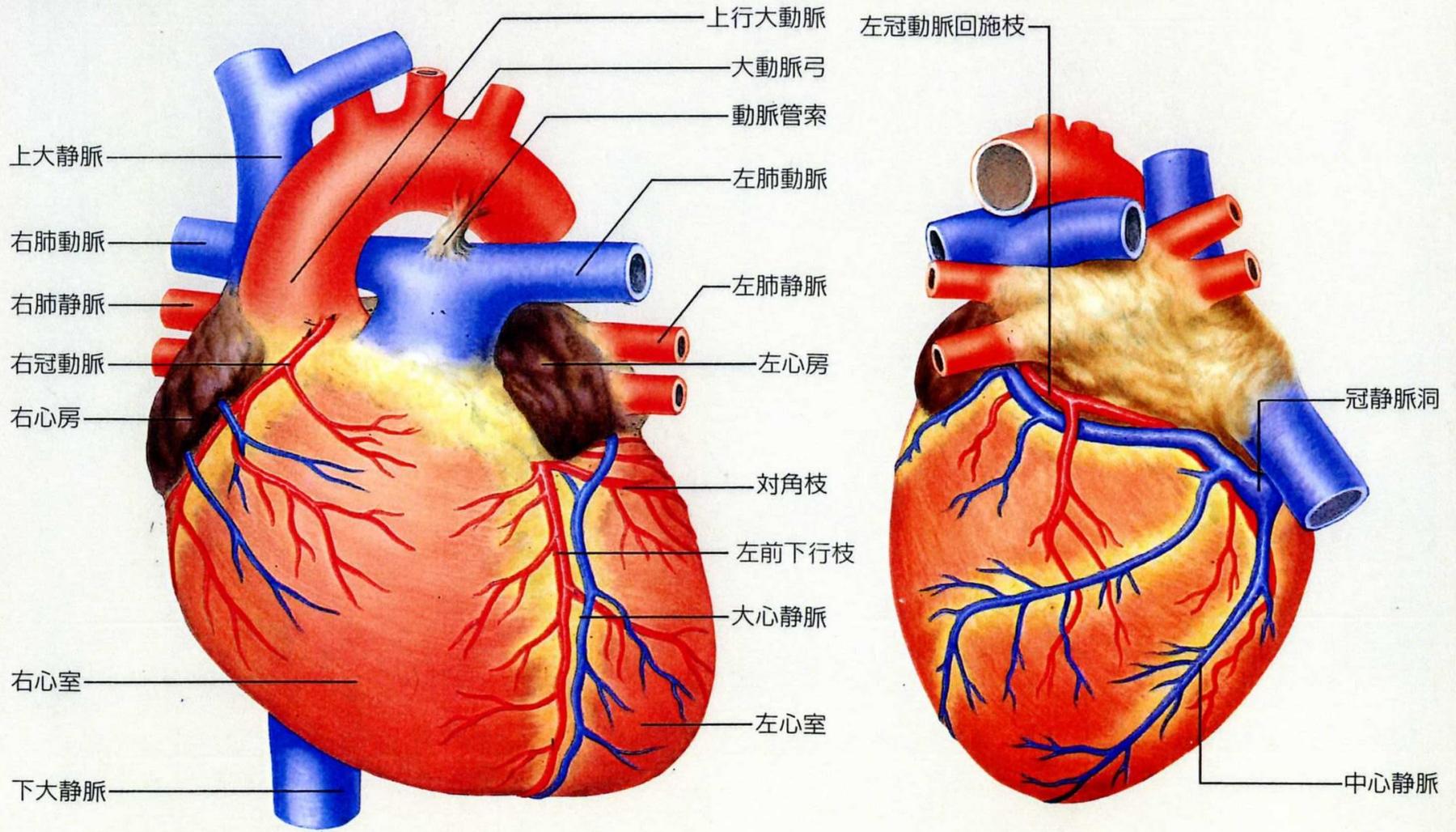
この検査を心臓CT検査といいま
す。

9-1 カテ室にてCAGをしているところ



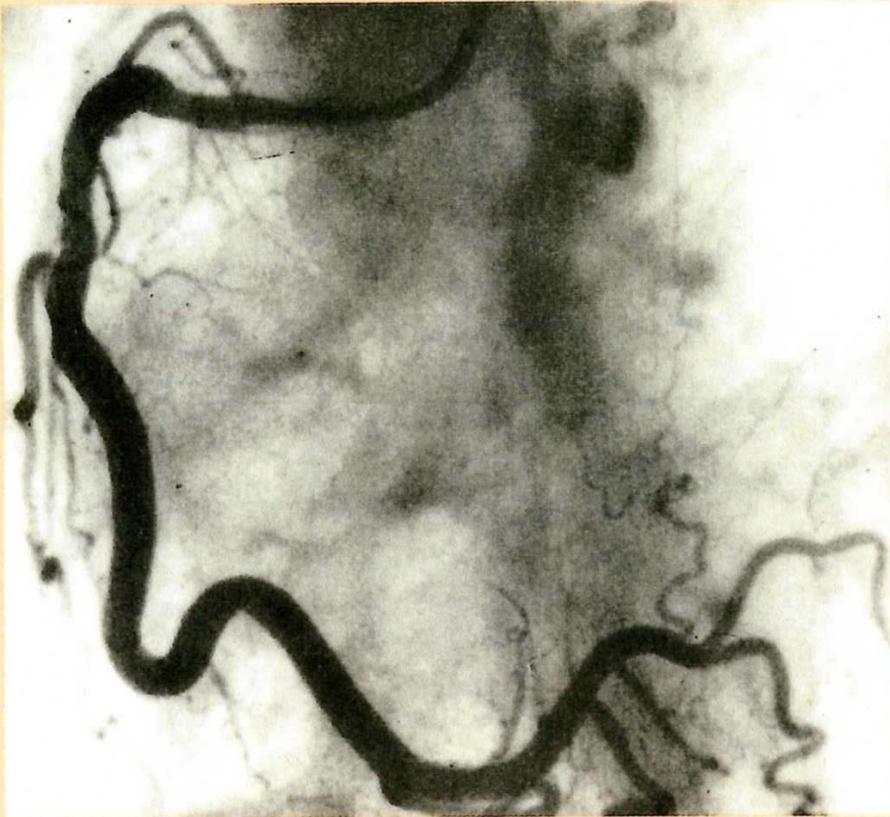
昔は検査も入院してやっていましたが、今は心臓CT検査です。外来での普通のCT検査です。

1-1 心臓の図(正面および後面)

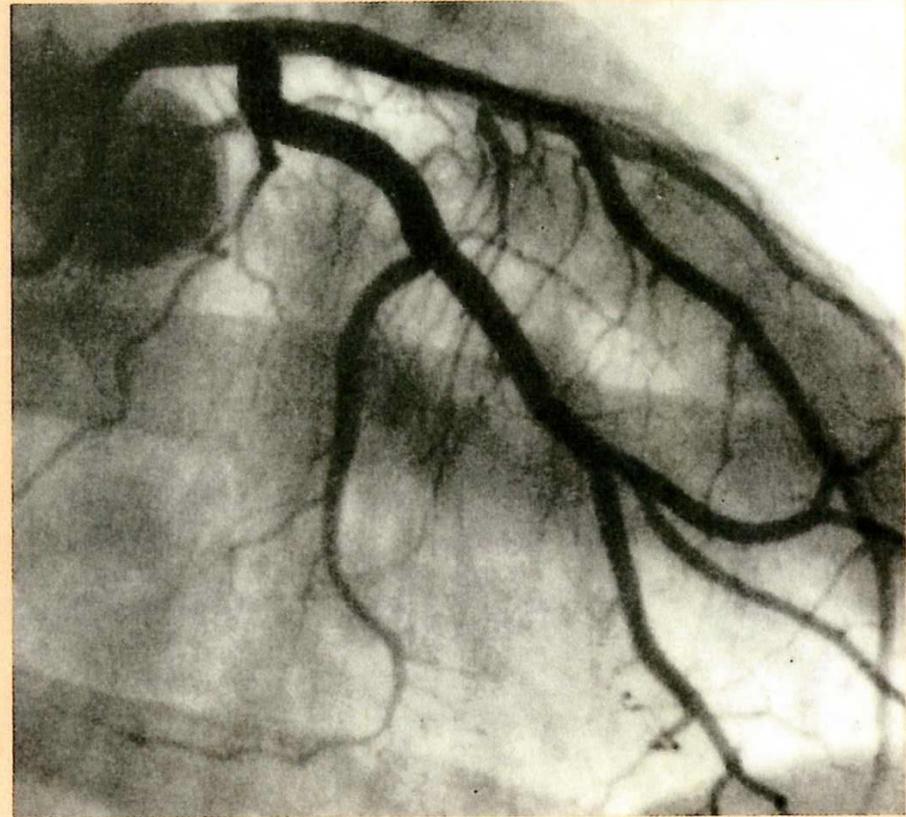


9-3 正常の冠動脈

右冠動脈



左冠動脈



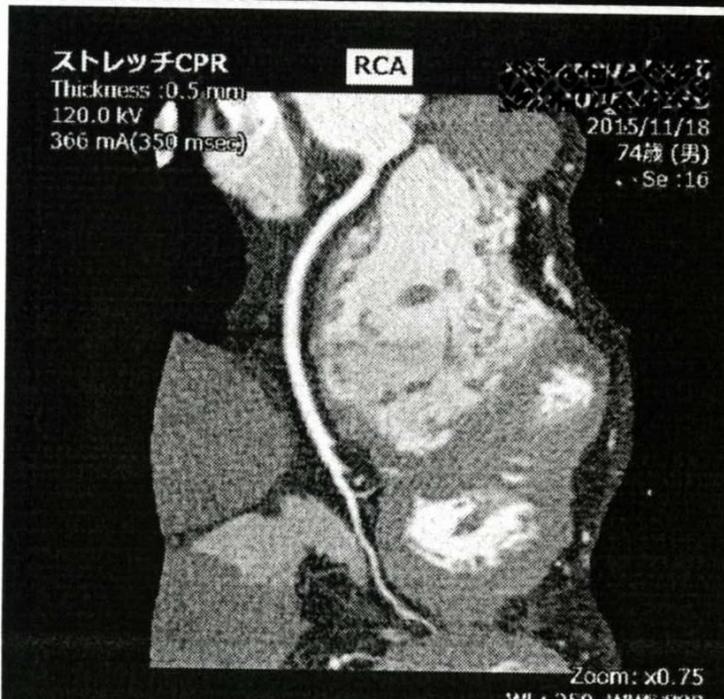
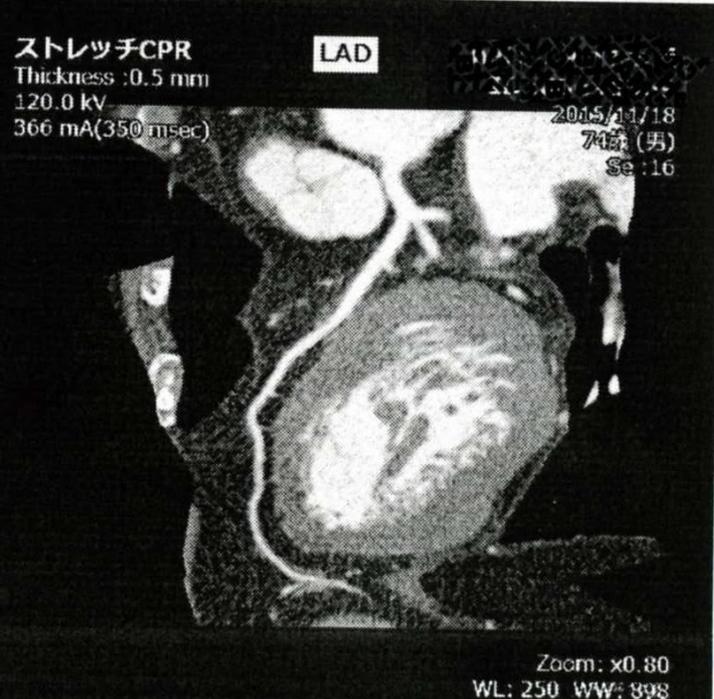
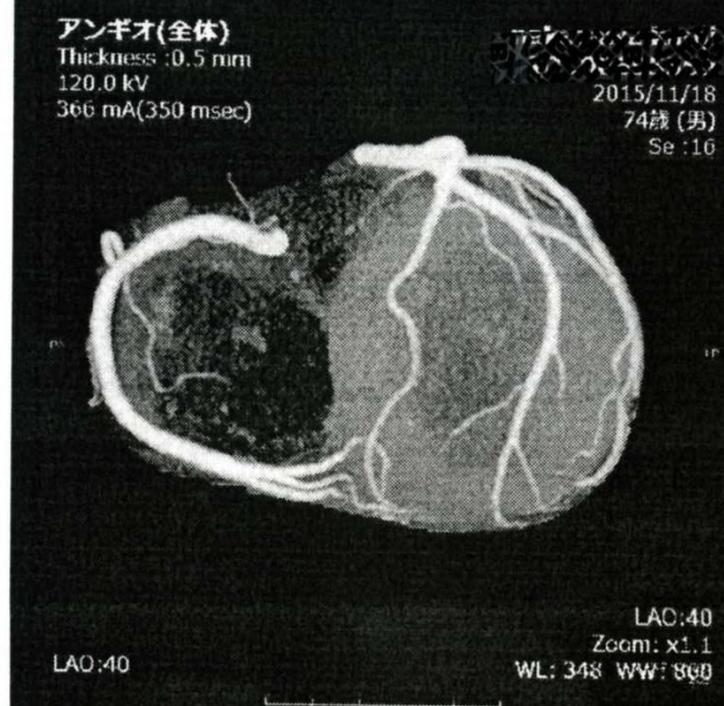
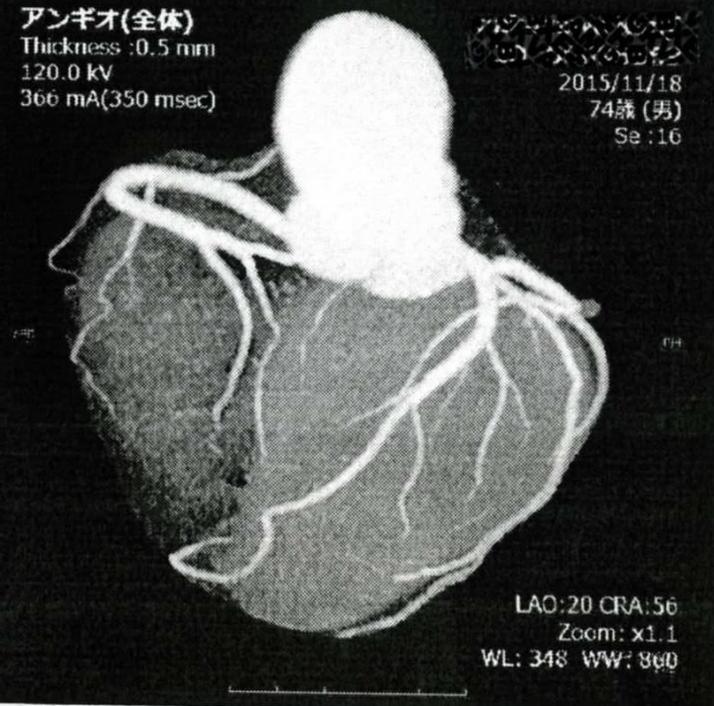
こんな風に3本の心臓の血管が見えます。

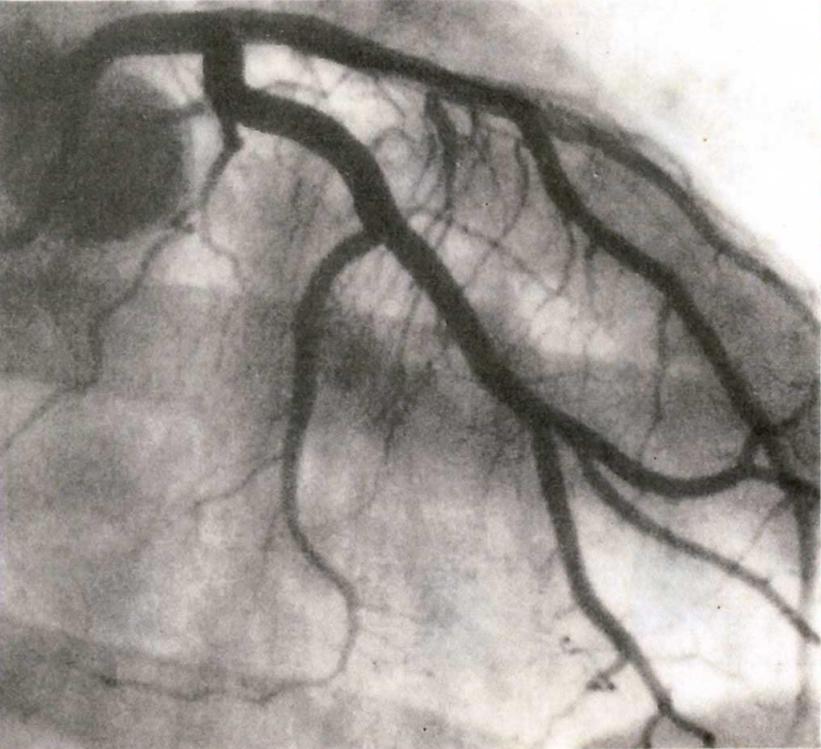
心臓CT検査

外来での
CT検査で
30分で
終了です。

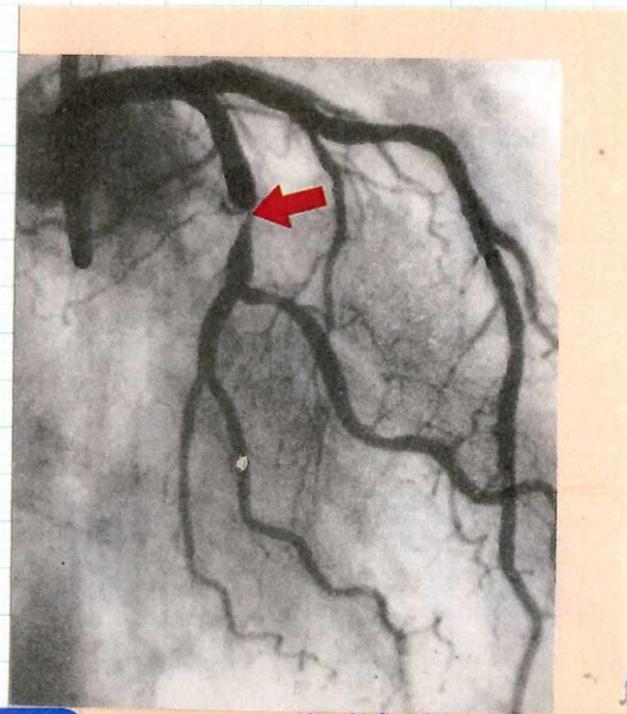
検査料は
3割負担で
1万円弱
です。

異常が無ければ5年後
までは心筋
梗塞を起こ
さない。年
2000円の
検査です

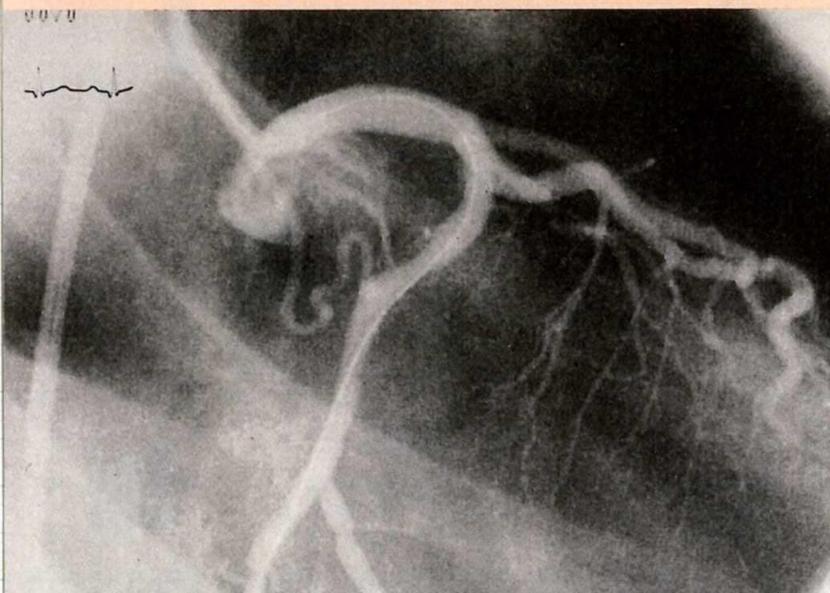
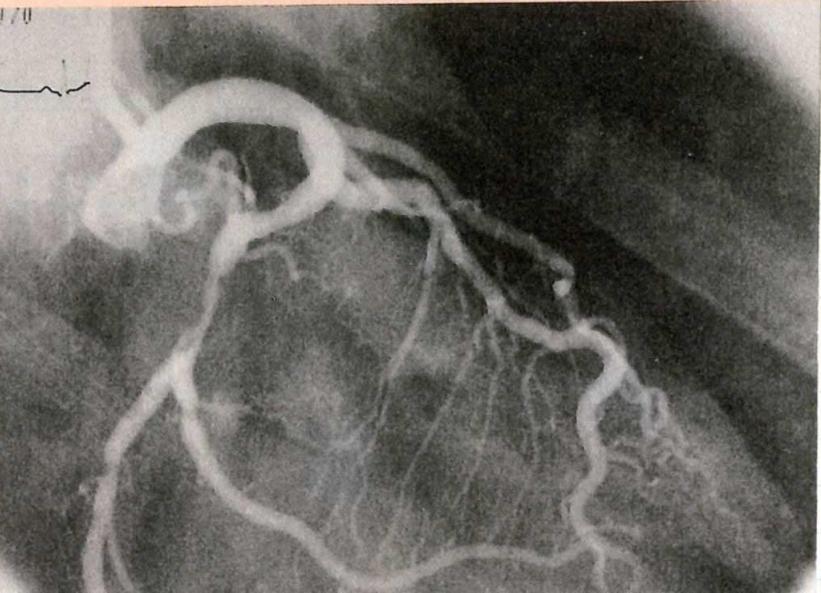




10-2 血栓溶解療法後



10-4 PTCA施行後



狭い時は

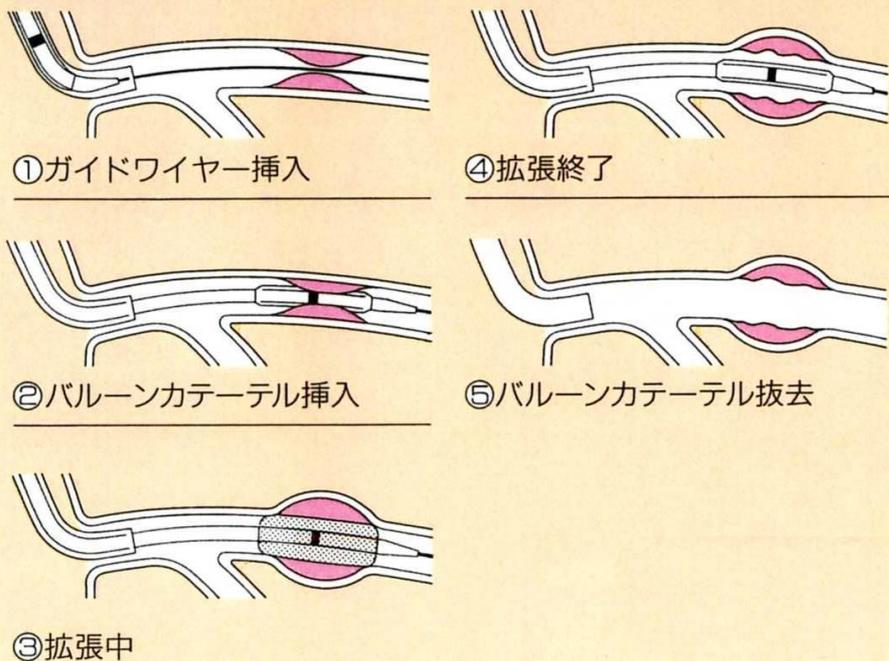
カテーテルで治療

1泊か2泊の入院です。

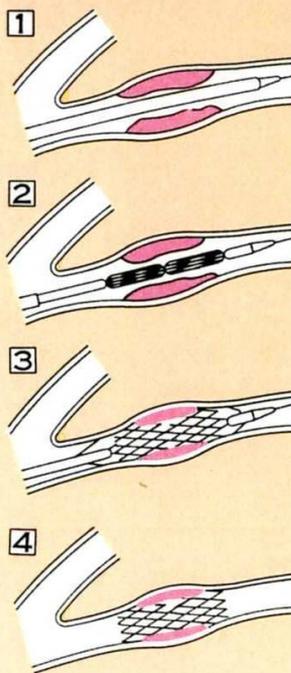
治療費は高額医療費になりますので、保険、納付税額によって異なります。

冠動脈狭窄を解除するカテーテル方法

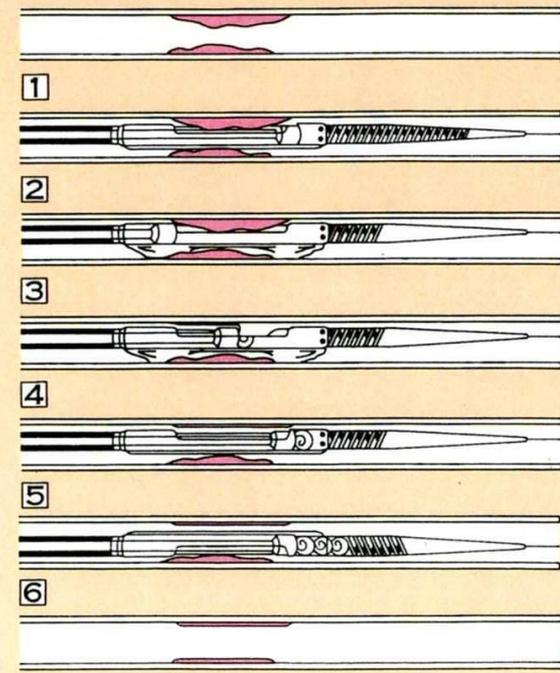
10-5 PTCA原理模式図



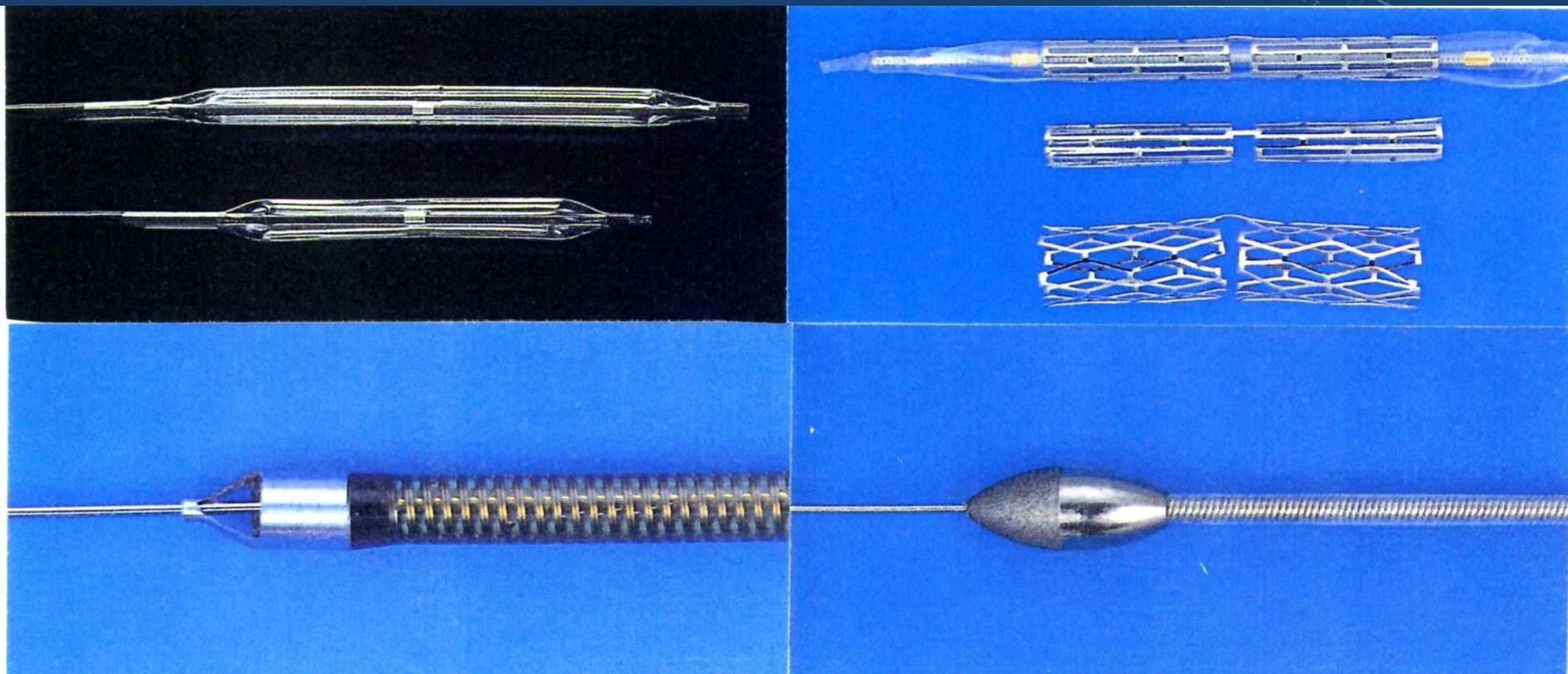
10-6 ステン트의原理模式図

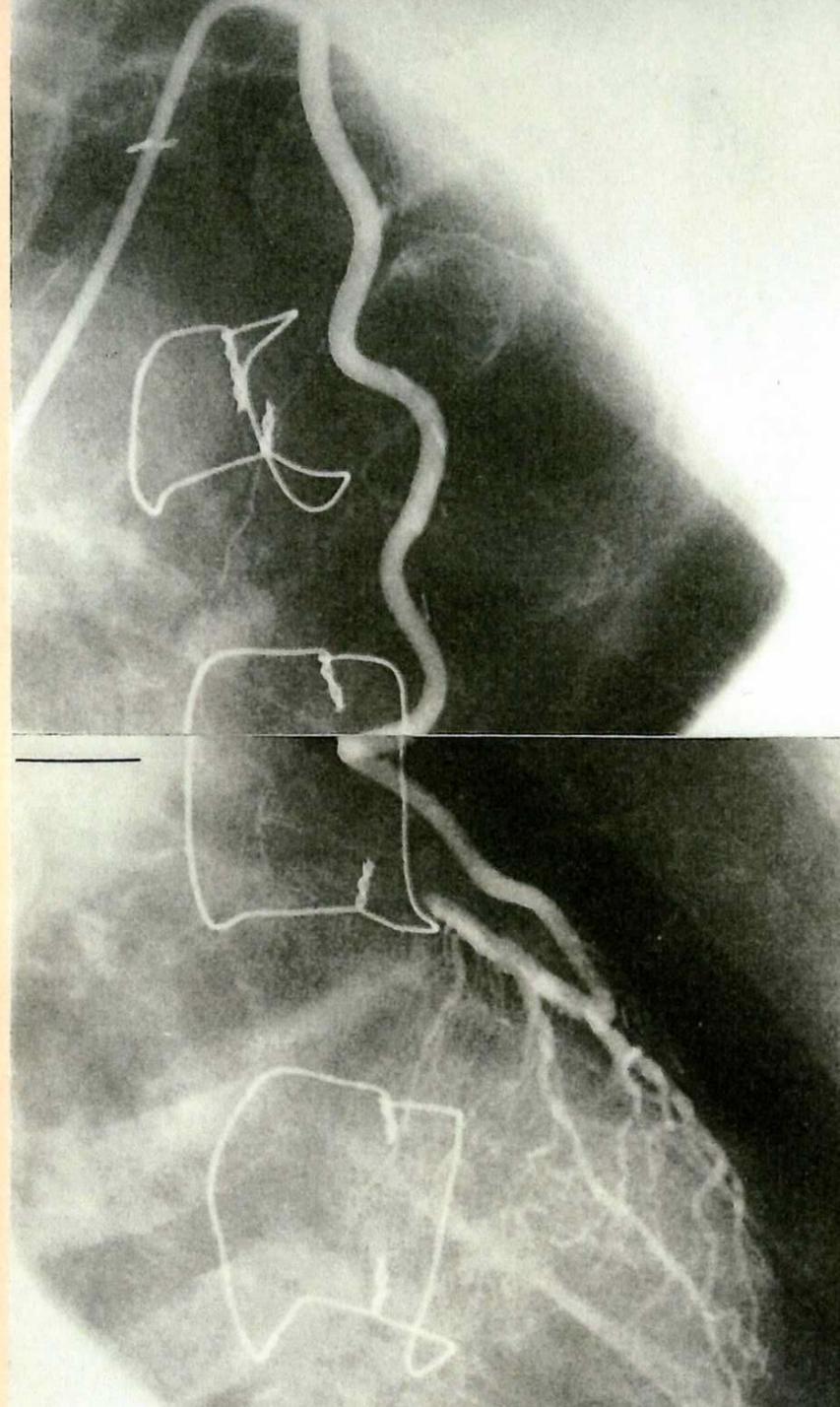
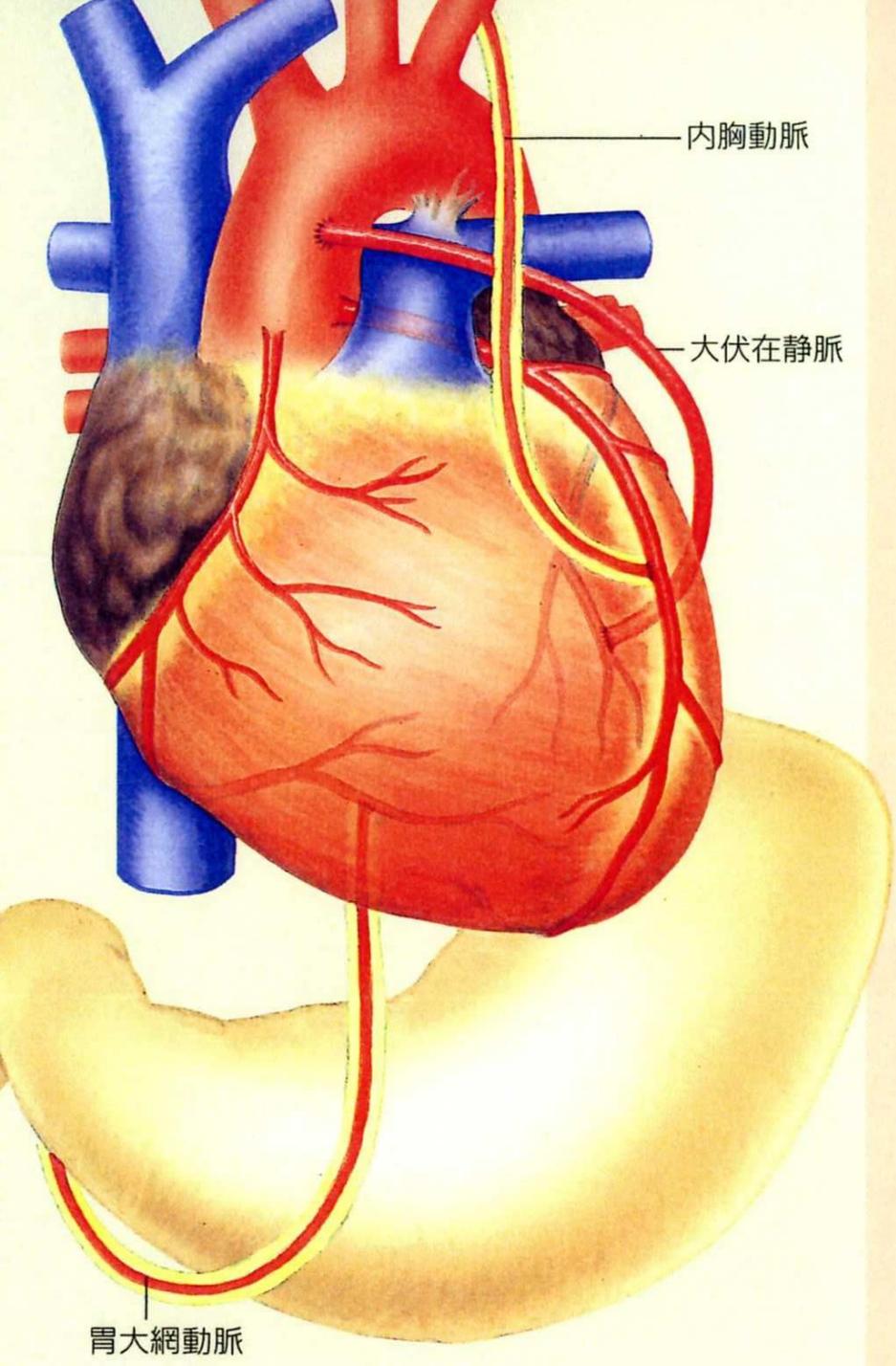


10-7 DCA原理模式図



冠動脈のカテーテル治療に使う道具





糖尿病156人中46人の心筋梗塞を防ぎました

平成日高クリニック糖尿病専門外来では

心臓の症状が全くない糖尿病の患者さん156人のご協力で、心臓CT検査を行いました

(2010年～2014年8月実施)

その結果

- 46人(約30%)の人の冠動脈の狭窄を見つけて心筋梗塞を防ぎました
- 46人中の16人の方には冠動脈の拡張術をすることができました
- その16人のうち7人は心筋梗塞直前で、まさに救命でした

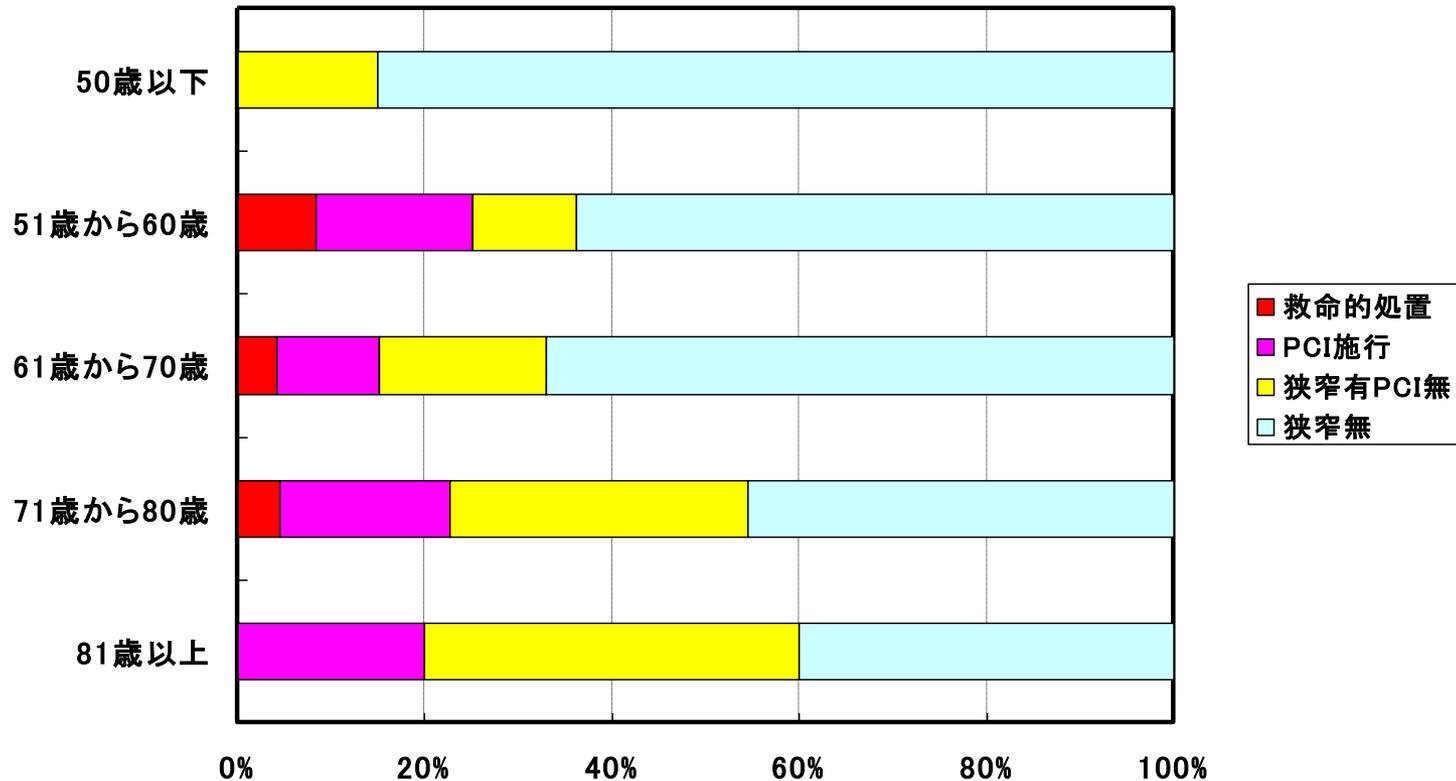
さらに

心臓CT検査を開始した2010年からは日高クリニック糖尿病専門外来受診中の患者さんで心筋梗塞で亡くなる方はいなくなりました

糖尿病の方は心臓CT検査を積極的に受けましょう

検査時の年齢で分けた心臓CT検査結果

年齢	50歳以下	51～60歳	61～70歳	71～80歳	81歳以上	合計
人数	20	36	73	22	5	156



51歳以上の糖尿病患者の30%以上に冠動脈の狭窄を認めた。

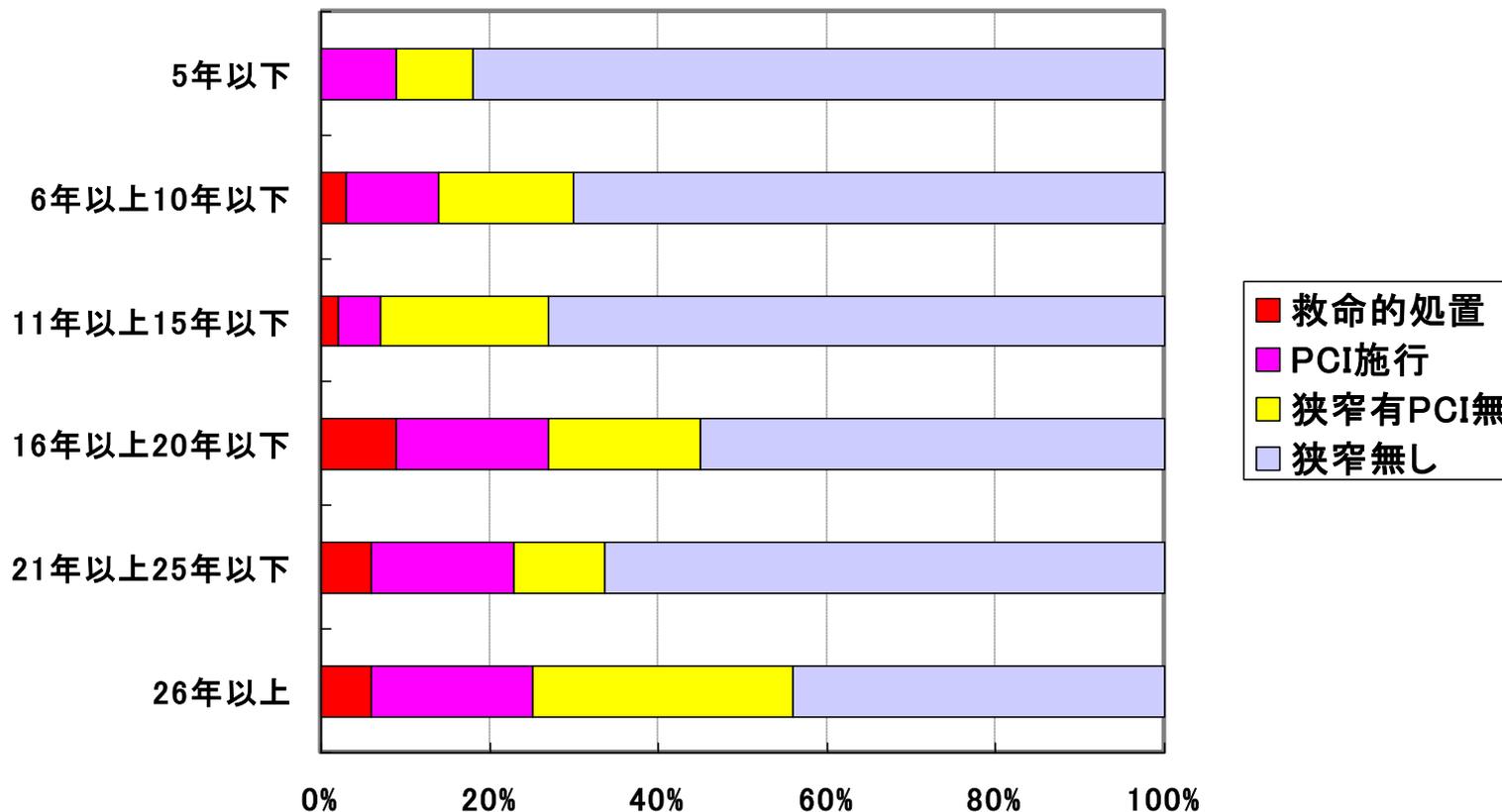
71歳以上では50%以上で冠動脈の狭窄を認めた。

51歳以上の糖尿病患者の20%は冠動脈の拡張術が必要であった。

50歳以下でも15%に冠動脈狭窄を認めた。

糖尿病罹患年数で分けた心臓CT検査結果

罹患期間(年)	5年以下	6～10	11～15	16～20	21～25	26年以上	合計
人数	11	37	41	33	18	16	156



糖尿病罹患期間が6年以上では30%、16年以上罹患者の40%に冠動脈の狭窄を認めた。

16年以上罹患者の20%は冠動脈の拡張術が必要であった。

血管内皮細胞障害は糖尿病と診断される前から始まっています

インスリン抵抗性と粥状硬化

